

Media Art
Night Nippon

メディアアート・ ナイト・ ニッポン

Rewind &
Fast-Forward
the History of
Media Art

メディアアートの
これまでと
これから

登壇者:

畠中実 (キュレーター)

廣田ふみ (アートプロデューサー)

メディア創造学科
主催講演会

11.14 Fri.
16:45-18:15

同志社女子大学
京田辺キャンパス
聡恵館ラーニング・コモンズ

メディアアート・ナイト・ニッポン： メディアアートのこれまでとこれから

日本のメディアアートの歩みを、ラジオ番組のように語り合うトークセッションです。

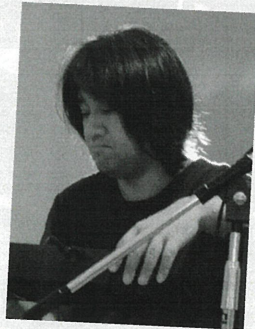
学生、アーティスト、キュレーター、研究者などから寄せられた質問をもとに、長年メディアアートに関わってこられた、キュレーターの畠中実さんとアートプロデューサーの廣田ふみさんのお二人が自由にトークを展開します。

メディアアートのこれまでとこれからの、声でたどる夜にしませんか。

登壇者

畠中実 | Hatanaka Minoru

1968年生まれ。NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]の主任学芸員、学芸課長を経て、2025年3月末で同館を退任。近年の展覧会には、「坂本龍一トリビュート展 音楽/アート/メディア」(2023年)、「evala 現われる場 消滅する像」(2024年)などがある。ICC以外の展覧会では、森美術館「マシン・ラブ: ビデオゲーム、AIと現代アート」アドバイザー(2025年)を務める。



廣田ふみ | Hirota Fumi

プロデューサー/株式会社イッカク代表取締役。IAMASメディア文化センター、山口情報芸術センター[YCAM]を経て、2012年より文化庁にてメディア芸術の振興施策に従事。2015年より国際交流基金にて日本と東南アジアの文化交流事業の一環としてメディアアートをテーマとした事業を企画。2020年からは東京都歴史文化財団にてシビック・クリエイティブ・ベース東京[CCBT]を立ち上げ。2024年アルスエレクトロニカS+T+ARTS Prize(主催:欧州委員会)審査委員。二松学舎大学非常勤講師。



実施概要

日時 11月14日(金) 16:45-18:15
場所 同志社女子大学京田辺キャンパス
聴恵館ラーニング・コモンズ イベントエリア
主催 同志社女子大学メディア創造学科
企画 梅田拓也(同志社女子大学)
日高良祐(京都女子大学)
松谷容作(追手門学院大学)

参加方法

学外の方も歓迎いたします。
現地参加の場合は予約不要です。
オンラインの場合はZoom meetingのURLを共有する必要がありますので、下記のURLまたは、右記QRコードより、事前登録をお願い致します。
<https://forms.office.com/r/U7ttN09qxv>



問い合わせ

同志社女子大学学芸学部 メディア創造学科
[tel] 0774-65-8635
[mail] media-t@dwc.doshisha.ac.jp